

麦踏み・土入れ・雑草対策の徹底を！



大津中央支所営農課
桐原 竜治

麦の生育期間における管理作業には、「**麦踏み・土入れ・雑草対策**」などがあります。これらの管理作業を怠らず、麦の収量および品質の向上に努めましょう。

■麦踏み ○徒長生育を抑え、体幹を強くし、分けつを促進する。

1月～2月に3回以上実施しましょう。(本葉3、4枚期～節間伸長期前まで) 麦が小さいうちの踏圧は軽めとし、麦が大きくなるとともに強くします。



12月が
暖かいときは
徒長に要注意

注意:早播き・暖冬の冬には徒長を抑えるために12月から実施する。過繁茂気味の場合は回数を増やす。また、分けつ数が不足気味の場合は、分けつを促進するため回数を増やす。

■中耕・土入れ ○無効分けつを抑制して遅れ穂の発生を抑え、粒の品質を高める。

注意:1回目は少なめに、2回目は多めにします。土入れによって排水溝が深くなり湿害の防止にも役立ちます。

麦のはえ具合と対策



■雑草対策

○1月になると雑草の発生が多くなるため、十分注意してください。特にスズメノテッポウの発生時期です。

■雑草に対する効果(目安)、使用方法

雑草名 薬剤名	イネ科							広葉雑草			処理時期	処理量	
	スズメノテッポウ	スズメノカタビラ	ハコベ	ノミノフスマ	タケツケバナ	カラスノエンドウ	ヤエムグラ	イヌタテ	タケ	クサ			ハコ
クリアターン細粒剤F	○	○	○	○	○	△	△	○				播種覆土直後	4 kg / 10 a
クリアターン乳剤	○	○	○	○	○	△	△	○				//	500cc～700ccを水70ℓ～100ℓに溶かす
キックボクサー細粒剤F	○	○	○	○	○	△	○	○				//	3～4 kg / 10 a
ボクサー(乳剤)	○	○	○	△	○	△	○	○				播種覆土直後～麦2葉期迄	400cc～500ccを水70ℓ～100ℓに溶かす
リベレーターフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○				播種覆土直後～麦3葉期迄	60ml～80mlを水100ℓに溶かす
リベレーターG	○	○	○	○	○	○	○	○				播種覆土直後～麦2葉期迄	4～5 kg / 10 a
ハーモニー細粒剤	○	△	○	○	○	△	×	○				スズメノテッポウが残ったとき	5 kg / 10 a
茎葉 ハーモニーDF	○	△～×	○	○	○	△	○	○				1月上旬～2月中旬	7.5～10 g / 10 a

(効果:○卓効～○有効～△劣る～×不効)

(乳水和剤の水量は100ℓ)

■除草剤の効果的な使用法と注意点

「土壌処理剤」

- 多くの雑草は栽培初期に多く発生し、栽培初期に発生した雑草ほど雑草害が強くなるので、土壌処理剤の使用は雑草防除の基本になります。
- 土塊が大きいと除草効果が低下するので、砕土を丁寧に行うようにします。
- 播種深度が浅い(2cm未満)と、出芽不良や生育抑制などの薬害が生じることがあります。
- 播種後できるだけ早く散布したほうが、除草効果は高くなります。

「茎葉処理剤」

- 除草剤の種類によって、効果が高い雑草とほとんど効果のない雑草があるので、雑草の種類を確認した上で、除草剤を選びます。
- 生育の進んだ雑草には効果が劣るので、それぞれの除草剤の使用適期に散布します。
- 雑草の葉や茎に薬液がかかると効果がないため、繁茂しすぎる前に散布します。